告白

なっちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者また このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

告白

Zコード

【作者名】

なっちゃん

【あらすじ】 雄二との甘~い恋物語.

私は雄二が好き...

だけど雄二はいつも....

翔「雄二…デート……」

雄「はぁ?デートなんて行..痛い!腕が曲がっていけない方向にぃ

ا :

って感じに翔子ちゃんと仲良くしていて...

もう 無理..

泣きそう.....

『つっ... ぐずっ』

明「いきなりどうしたの?なお???」

秀「!!!どうしたのじゃ!!」

『もう… ぐずっ… いや… だっ……』

明「ちょっ... なお!?」

秀「何処に行くのじゃ!」

私は教室を出た。

雄「ふぅ…やっと帰ったぜ……ん??どうかしたのか?」

秀「なおが泣いておったのじゃ...」

雄「はあつ?」

康「.....雄二のせい...」

雄「はぁっ?俺が何をしたんだよ!?」

康「.....自分で考えろ.....」

その頃の私....

```
そして...
                                                                                                                       。
嘘
:
                                                                                                        雄「本当だ…」
                                                                                                                                      雄「俺も好きだ…」
                                                                                                                                                                                                 雄「ノノノ」
                                                                                                                                                                                                                              雄「何で俺のせいなんだ?」
               雄二からのキス..
                                            雄「誰かさんのせいだからな!-
                                                                          雄「...はぁ?あんな恥ずかしいこと言えるかっ...
                                                                                                                                                                    雄二に抱きしめられてた
                                                                                                                                                                                                                                                             雄「何で泣いている?」
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         屋上で泣いていた。
                                                                                                                                                                                  『雄二のこと…ぐずっ…好き…んっ』
                                                                                                                                                                                                                                              『雄二の...せい...ぐずっ』
『... ふっ... んっ....
                                                           『雄二...顔真っ赤..』
                                                                                        『なら、もっかい言って???』
                                                                                                                                                                                                                『...翔子ちゃんと...仲良くしてるから...』
                                                                                                                                                                                                                                                                            『!?雄二!!』
                                                                                                                                                                                                                                                                                           「俺が何だって??」
                                                                                                                                                                                                                                                                                                         『...雄二の...ぐずっ...』
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        『... ぐずっ... バカっ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         :
```

雄「愛してる...」

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 などー 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 の縦書き小説 います。 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 タテ書き小説ネッ ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 ケー タイ の いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n4644y/

告白

2011年11月17日17時16分発行